

2023年4月30日

## 主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒402番（旧130番）（YA 姉）

『父のみこころと』

聖書⇒イザヤ書 41:8~10 節（MM 姉）

『わたしの僕イスラエルよ。わたしの選んだヤコブよ。わたしの愛する友アブラハムの末よ。わたしはあなたを固くとらえ／地の果て、その隅々から呼び出して言った。あなたはわたしの僕／わたしはあなたを選び、決して見捨てない。恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。たじろぐな、わたしはあなたの神。勢いを与えてあなたを助け／わたしの救いの右の手であなたを支える。』

礼拝讃美歌⇒383番

『安かれわが心よ』

聖書⇒コロサイの信徒への手紙 3:16 節（HT 姉）

『キリストの言葉があなたがたの内に豊かに宿るようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、論し合い、詩編と賛歌と霊的な歌により、感謝して心から神をほめたたえなさい。』

聖書⇒コロサイの信徒への手紙 3:23 節（MN 姉）

『何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心から行いなさい。』

礼拝讃美歌⇒472番（KH 兄）

『十字架の血に』

聖書⇒イザヤ書 52:13~15 節（ES 姉）

『見よ、わたしの僕は栄える。はるかに高く上げられ、あがめられる。かつて多くの人をおののかせたあなたの姿のように／彼の姿は損なわれ、人とは見えず／もはや人の子の面影はない。それほどに、彼は多くの民を驚かせる。彼を見て、王たちも口を閉ざす。だれも物語らなかつたことを見／一度も聞かされなかつたことを悟ったからだ。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 19:5 節

『イエスは茨の冠をかぶり、紫の服を着けて出て来られた。ピラトは、「見よ、この男だ」と言った。』

(祈)

《パン裂き》

聖書⇒ヨハネによる福音書 6:52~58 節 (KH 兄)

『それで、ユダヤ人たちは、「どうしてこの人は自分の肉を我々に食べさせることができるのか」と、互いに激しく議論し始めた。イエスは言われた。「はっきりしておく。人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたたちの内に命はない。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠の命を得、わたしはその人を終わりの日に復活させる。わたしの肉はまことの食べ物、わたしの血はまことの飲み物だからである。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、いつもわたしの内におり、わたしもまたいつもその人の内にいる。生きておられる父がわたしをお遣わしになり、またわたしが父によって生きるように、わたしを食べる者もわたしによって生きる。これは天から降って来たパンである。先祖が食べたのに死んでしまったようなものとは違う。

このパンを食べる者は永遠に生きる。』

(式)

礼拝讃美歌⇒355 番

『主はいのちを』

《建徳》

聖書⇒ルカによる福音書 10:29~37 節 (KH 兄)

『イエスは言われた。「正しい答えだ。それを実行しなさい。そうすれば命が得られる。」

しかし、彼は自分を正当化しようとして、「では、わたしの隣人とはだれですか」と言った。

イエスはお答えになった。「ある人がエルサレムからエリコへ下って行く途中、追いはぎに襲われた。追いはぎはその人の服をはぎ取り、殴りつけ、半殺しにしたまま立ち去った。ある祭司がたまたまその道を下って来たが、その人を見ると、道の向こう側を通って行った。同じように、レビ人もその場所にやって来たが、その人を見ると、道の向こう側を通って行った。ところが、旅をしていたあるサマリア人は、そばに来ると、その人を見て憐れに思い、近寄って傷に油とぶどう酒を注ぎ、包帯をして、自分のろばに乗せ、宿屋に連れて行って介抱した。そして、翌日になると、デナリオン銀貨二枚を取り出し、宿屋の主人に渡して言った。『この人を介抱してください。費用がもっとかかったら、帰りがけに払います。』さて、あなたはこの三人の中で、だ

れが追いはぎに襲われた人の隣人になったと思うか。」律法の専門家は言った。「その人を助けた人です。」そこで、イエスは言われた。「行って、あなたも同じようにしなさい。』』

聖書⇒ヨハネによる福音書 14:1~3 節 (SK 兄)

『「心を騒がせるな。神を信じなさい。そして、わたしをも信じなさい。わたしの父の家には住む所がたくさんある。もしなければ、あなたがたのために場所を用意しに行くと言ったであろうか。行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻って来て、あなたがたをわたしのもとのに迎える。こうして、わたしのいる所に、あなたがたもいることになる。』

礼拝讃美歌⇒338 番

『貴き血をもて』

《建徳要旨》